



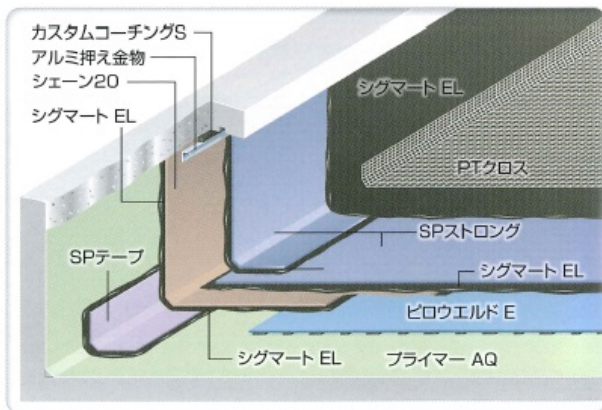
[審査証明番号/有効期限]	BCJ-審査証明-47/2022年3月20日
[技術の名称]	環境対応型アスファルト防水「ピロウエルド新熱工法」
[依頼者(審査証明取得者)]	日新工業株式会社

【技術概要】

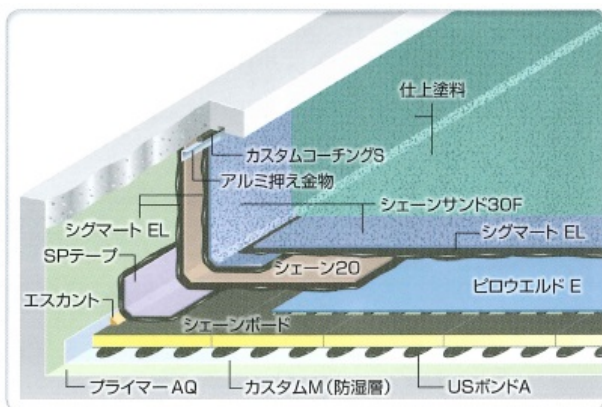
本工法は、一般平面部第1層目のルーフィングとして、裏面に粘着層をストライプ状に設けた改質アスファルトルーフィングを常温(粘着)工法で施工し、第2層目のルーフィングを低臭・低煙タイプの防水工事用アスファルトを使用した熱工法により施工する、常温(粘着)工法と熱工法を併用したアスファルト防水2層工法である。

本工法は、建築の屋根防水に適用し、保護タイプで6仕様、露出タイプで6仕様ある。

■保護タイプ例(FP-2仕様)



■露出タイプ例(SPM-2仕様)



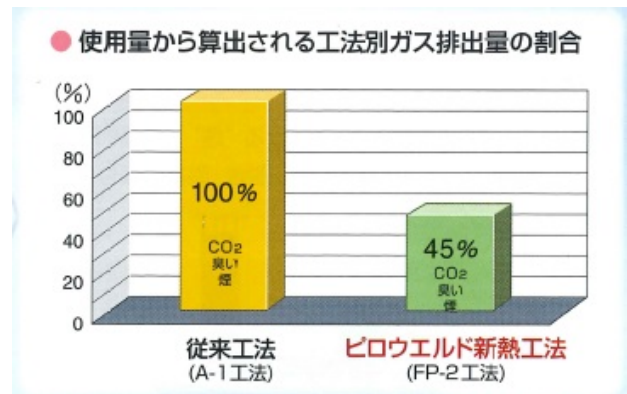
【開発の趣旨】

従来のアスファルト防水熱工法は、防水工事用アスファルトを用いてアスファルトルーフィングを3~5層積層して防水層を形成する工法である。このアスファルト防水熱工法には、水密性の信頼性が高い反面、次のような問題点がある。

- (1) 防水工事用アスファルトを作業現場で溶融するため、溶融アスファルトから発生する煙、臭いにより環境上の問題が発生する。

- (2) ルーフィングを3~5層積層して防水層を形成するため、使用材料及び作業工程が多く作業効率上の問題がある。

本工法は、裏面に粘着層をストライプ状に設けた下張り専用の改質アスファルトルーフィングと、低臭・低煙タイプの防水工事用アスファルトを使用した粘着工法と熱工法を併用したアスファルト防水2層工法で平面部防水層を形成することにより、作業工程数及び防水層の重量を削減し、さらに環境への軽減を図ることを目的として開発を行ったものである。



【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨、開発の目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 第1層目を特殊な下張り専用の改質アスファルトルーフィングシートを常温で施工し、第2層目を工事用アスファルトによる熱工法で施工することにより、在来工法によるアスファルト防水と同等の性能を有するものと判断される。
- (2) ピロウエルド新熱工法で施工することにより、アスファルトの使用量を削減し、作業・周辺環境に対する影響が軽減されるものと判断される。
- (3) 在来工法によるアスファルト防水層と比較して、防水層の重量を削減すること、作業工程数の削減及び施工の簡易化により作業効率が向上するものと判断される。

【本技術の問合わせ先】

日新工業(株) 営業統括部情報企画課
TEL 03-3882-6081